

平成28年度

# いばらき輝く教師塾

茨城県教育研修センター

第2日 10月1日(土)

## 講話「未来を創るリーダーシップ」



株式会社ヤマオコーポレーション  
代表取締役 鬼澤 慎人 氏

### 【要旨】

- ・世の中は常に変化している。我々は、変化に対応し、人と協力しながら変化を起こしていかなければならない。
- ・場の雰囲気づくりは大切であり、一人一人が影響力を持っている。場の雰囲気づくりには、表情、姿勢、言葉を意識することが大切である。
- ・リーダーシップは、頭で理解していても実践するのは難しいが、実践からの気付きによって成長するものである。
- ・リーダーは、志をもって組織や人のために貢献し、周りにより影響を与える。よいリーダーには、よい仲間が集まる。

## < 講義 >

### 子どもたち一人一人を大切にしている教師の対応

#### 講義資料



茨城県教育研修センター教育相談課  
指導主事 小松 智樹

### 【要旨】

- ・人の悩みや不安は、人間関係に起因することが多いので、人間関係を円滑に進めることが重要である。
- ・アサーション（自他尊重コミュニケーション）を学ぶことは、他者との関係性を考えたコミュニケーションの取り方を具体的に学ぶ方法として有効である。
- ・自己表現には、アグレッシブ、ノン・アサーティブ、アサーティブの三種類があり、アサーティブな表現方法は、子どもたち一人一人を大切にしている教師の対応につながるだけでなく、教師と保護者、職場の人間関係等にも生かされる。

## ＜ワークショップ＞ 子どもたち一人一人を大切に する教師の対応



## 塾生のアンケートより

- ・リーダーシップとは人を導くことと思っていたが、まず自分自身に対するリーダーシップを発揮することが大切であることを学んだ。【学生】
- ・場づくりの大切さを再確認した。よい場をつくるために、表情、姿勢、言葉に心がけ、自分からよい雰囲気をつくれるようにしたい。【学生】
- ・児童生徒に対しては、自分が見える一面だけで判断するのではなく、いろいろな方面から深く関わることで、児童生徒のよさを見つけていきたい。【若手教員】
- ・本日の講義と演習を通して、教師は単に授業をする存在ではなく、子どもたちに大きな影響を及ぼす存在だということを深く感じた。【学生】
- ・相手の気持ちを尊重した上で、自分の意見を伝えるアサーションを実践することの大切さを学ぶことができた。【若手教員】
- ・他人との関わり方、自分の意見の伝え方など、教師として最も求められる力について学ぶことができた。【若手教員】